



管機連だより

(一社) 全国管工機材商業連合会

.... スローガン

1. 適正利潤の確保
1. 取引改善の徹底
1. 工・製・販の協調
1. 組合認識の高揚
1. 環境保全の推進

年頭所感

【一般社団法人全国管工機材商業連合会】



橋本 政昭 会長 日も早い復旧復興を祈念致します。

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

はじめに、年初に発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げ、一

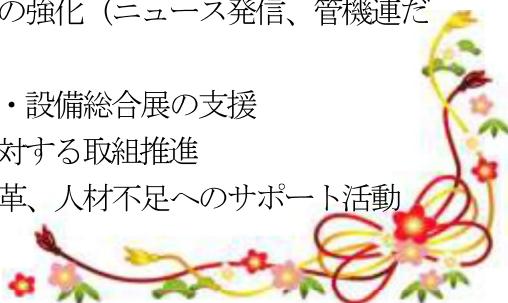
8組合（傘下組合員702社）、特別会員42社、賛助会員111社の全国組織となりましたが、この間、傘下会員のご協力の下、情報発信（日刊・週刊ニュース、管機連だより、機関誌「管機連」等）、管工機材の将来を考える研究会開催（24回）、工販・製販の連携、組合活動支援（防災協定、人材育成、総合展等）などの活動を実施してまいりました。

今後とも、5つのスローガン（上記）を共有し、暮らしと産業のライフラインを支える喜びと誇りを持てる業界となるよう、なお一層の会員の結束を図り、業界の繁栄と安心・安全な社会の実現に寄与しまいりたいと決意を新たにしております。

新たな1年も、全国18組合、特別会員、賛助会員のご協力の下、5つの委員会（総務、人材、IT推進、経営推進、環境）を中心に具体的な活動を展開してまいります。皆様方の引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、管工機材業界の益々の発展と皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

1. 管機連組織の増強（正会員：18組合、賛助会員：111社、特別会員：42社）
2. 官公庁との連携強化（経済産業省、国土交通省、厚生労働省他）
3. 工販の連携（全管連）
4. 製販の連携（メーカー、業界団体）
5. 各地区組合の防災協定締結の推進（三管協方式の展開）
6. 管工機材の将来を考える研究会の継続実施
7. 情報発信の強化（ニュース発信、管機連だより等）
8. 管工機材・設備総合展の支援
9. SDGsに対する取組推進
10. 働き方改革、人材不足へのサポート活動



【経済産業省 経済産業局 素材産業課長】



冒頭、本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震において亡くなられた方々に、心からご冥福をお祈り申しあげるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

土屋 博史 様

今回の災害では、素材産業においても、一部において設備の損傷や工場の稼働停止といった被害が生じていると認識しております。こうした状況の中、皆様におかれましては、物資の御提供や情報収集など御協力をいただいており、心より感謝申し上げます。今後も、総力を挙げて、災害対応に取り組んでまいりますので、引き続き、御協力いただきますようお願い申し上げます。

バルブ・継手・パイプをはじめとした管工機材は、住宅、水道、工場・プラントなど、国民生活及び産業の基盤となる重要な役割を果たされています。

こうした中、全国管工機材商業連合会におかれましては、昨年は、創立60周年という節目の年でありました。昭和38年の設立以来、管工機材の製造事業者・工事業者、関係機関との連携等に積極的に取り組まれるとともに、地震・水害等の災害からライフラインを守る体制づくりにつきましても、全国各地で災害時における資材提供等に関する協定を結んでいただいております。あらためて、皆様の長年に亘るご努力とご功績に、心より敬意を表します。

さて、我が国の製造業は、原料や部素材等の供給面の課題やエネルギー価格の高騰など、様々な面で引き続き影響を受けておられると承知しています。

昨年、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行され、社会経済活動の正常化が進みつつある一方で、物価高騰や人手不足の影響等により、依然として厳しい状況にあります。

また昨年は、脱炭素社会の実現に向け、日本の経済・社会、産業構造のグリーン・トランジション（GX）の検討が一段と加速しました。

化学・セメント・紙パルプ等をはじめとする素材産業は、日本の競争力の源泉であるとともに、他方

で、生産プロセスにおいて電気や熱を消費する産業でもあります。我が国のCO₂排出量の約1/4を占める素材産業は、排出削減が困難なセクターと言われているように、GXの実現は容易ではありませんが、官民が連携をしながら、2050年カーボンニュートラル実現をチャンスに変えていくことは、日本の製造業の将来に向けて不可欠な取組だと認識しています。

このため、政府としては、GX基本方針を踏まえ、化学・セメント・紙パルプを含む16分野において、専門家の知見も借りブラッシュアップし、昨年12月の「GX実行会議」において「分野別投資戦略」を取りまとめました。この中で、GX経済移行債を活用した「投資促進策」を講じていくこととしており、先行投資支援を行うとともに、削減効果等のGX価値の見える化や、CO₂排出削減のインセンティブ設計などのグリーン市場の創出に取り組むことで、既存市場で利益を上げながら、同時にグリーン市場を開拓していくことを目指してまいります。

諸外国では、戦略分野に関する投資を自国内に誘導するための産業政策競争が活発化してきました。

こうした中、我が国も、世界に伍して競争できる投資促進策が必要です。我が国においても、産業構造を踏まえた生産・販売量に応じた大胆な投資促進策を講じていくことが重要であるという考え方の下、

「戦略分野国内生産促進税制」を創設しました。素材産業についても、「グリーンケミカル」が対象分野となっています。こうした新たな投資促進策を講じることにより、民間企業に対して生産・販売拡大のインセンティブとなることを通じ、更なるGXの促進と成長力の強化を図ってまいります。

また、来年は2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催されます。昨年末には入場チケットの前売販売も開始され、より一層準備が加速されていきます。万博では、「いのち」をテーマに掲げる万博として、世界が一つの「場」に集う機会となります。（次ページに続く）



(前ページより)

企業・団体がこれまでの万博よりもさらに幅広い参加ができるように、多様な参加の枠組みが計画されておりますので、産業界の皆様におかれましてもぜひ積極的にご关心・ご参画いただければと思います。

新型コロナウイルス感染症を乗り越えた先の新たな時代に向け、経済産業省としては、これまでに述べたような様々な施策を総動員し、産業界の皆様としっかりと連携しながら、素材産業の成長のために全力を尽くしていく所存です。この新しい時代を迎えるにあたって、皆様の御健康と御多幸を、そして素材産業の更なる発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

本部ニュース

管機連創立60周年記念行事を開催

【正副会長会議】

令和5年12月19日（火）12時30分より、明治記念館 2階「プライベートルーム8」にて正副会長会議が開催されました。



正副会長会議

【令和5年度第2回理事会】

令和5年12月19日（火）13時30分より、明治記念館 2階「孔雀の間」において、令和5年度第2回理事会が開催されました。

《議案》

第1号議案 令和6年度第1回理事会及び第12回定時社員総会日程の件
原案通り承認可決されました。

第2号議案 予算進捗状況の件

原案通り承認可決されました。

第3号議案 令和6年度夏休みの件

原案通り承認可決されました。



理事会

【第24回 管工機材の将来を考える研究会】

令和5年12月19日（火）15時より、明治記念館 1階「曙の間」において、第24回管工機材の将来を考える研究会が開催されました。

- 元内閣官房国家安全保障参与 宮川 真喜雄 様
(テーマ「緊張を増す国際社会と日本」)
- (株)日本政策総研 代表取締役社長 宮脇 淳 様
(テーマ「日本経済の現状」)



管工機材の将来を考える研究会・宮川様





管工機材の将来を考える研究会・宮脇様

ビデオ上映後、橋本会長による主催者挨拶、落合代議員によるご来賓紹介が行われました。



主催者挨拶・橋本政昭会長

【創立60周年記念式典】

令和5年12月19日（火）16時30分より
明治記念館 2階「富士の間」において、創立
60周年記念式典が開催されました。

落合代議員による、開会の辞にはじまり、管機連の歴史を振り返る記念ビデオを上映致しました。



開会の辞 東京・落合智貴代議員

続いて、経済産業省表彰・記念品贈呈が執り行われました。

受賞者は、次のとおりです。
【経済産業大臣賞（3名）】

倉地 順 様	倉地株式会社	(東京)
竹内 恭一 様	株式会社タケウチ	(東京)
仲 一朗 様	株式会社仲啓	(京都)

【経済産業省 製造産業局長賞（5名）】

武田 俊男 様	株式会社武田	(長野)
大藪 淳一 様	株式会社大清	(愛知)
向山 英雄 様	サンコー機材株式会社	
		(東京)
加藤 文浩 様	丸八管材株式会社	(茨城)
久門 龍明 様	株式会社久門製作所(大阪)	



記念ビデオ上映



受賞者登壇



受賞者代表謝辞・仲 一朗氏



(一社) 日本バルブ工業会
会長 西岡 利明 様



経済産業省 製造産業局
素材産業課長 土屋 博史 様



日本金属継手協会
会長 崎山 幹夫 様



全国管工事業協同組合連合会
会長 藤川 幸造 様



塩化ビニル管・継手協会
副会長 鈴木 謙次郎 様

(5)



司会進行・栗原 冬子 様





主催者挨拶 副会長 大藪 淳一



衆議院議員 牧原 秀樹 様



参議院議員 足立 敏之 様

祝辞並びに乾杯は、名譽顧問・株式会社キツツ
代表取締役社長 堀田 康之様より、明治神宮の
ご神酒での乾杯となりました。



名譽顧問 堀田 康之 様

乾杯の後、メインステージにてアトラクション・
弦楽四重奏を演奏いただきました。



アトラクション・弦楽四重奏

宴たけなわの中、久門龍明副会長から、中締めの
挨拶があり、3本締めで、お開きとなりました。



中締め 副会長 久門 龍明

閉会後、正副会長が金屏風前にてご臨席の皆様
をお見送りしました。



役員によるお見送り



ゴルフ会



記念式典翌日、令和5年12月20日（水）によみうりゴルフ倶楽部にて記念ゴルフ会が開催されました。

8時40分より行われた朝礼では、東京組合の亀山代議員が司会に立ち、向山副会長よりご挨拶されました。

ゲストに管機連契約選手・小西瑞穂さんや服部道子プロ、初代契約選手・沓澤莉子さんを招き、競技にご参加いただきました。



(左) 小西瑞穂プロ (右) 服部道子プロ

全12組、48名の参加により、組合員と賛助会員による個人戦が企画され、大いに盛り上りました。

成績は以下の通りです（敬称略）。

【組合員 個人戦】

- 1位 矢野 憲一（山梨）
- 2位 後藤 信幸（東京）
- 3位 大村 敏之（静岡）



【賛助会員 個人戦】

- 1位 林 卓也（株式会社オンド製作所）
- 2位 吉田 臣寛（株式会社川本製作所）
- 3位 鴨下 直人（株式会社東栄工業）

競技終了後は、レストランにて表彰式が行われました。司会進行は、東京組合の落合代議員、向山副会長の御礼ご挨拶にて終了となりました。



掲示板

○賛助会員

日本プラスチック工業株式会社
移転（令和5年7月）
〒104-8307
東京都中央区京橋2-1-3
京橋トラストタワー
TEL 03-3245-3166
FAX 03-3245-3168

○賛助会員

株式会社ベン
本社移転（令和5年7月）
〒231-0013

神奈川県横浜市中区住吉町3-30
TEL 045-227-5247
FAX 045-227-5237

○賛助会員

シーケー金属株式会社
ビル名変更（令和5年10月1日より）
新ビル名：プライム岩本町二丁目ビル4階
旧ビル名：ユニゾ岩本町二丁目ビル 4階

○賛助会員

株式会社日邦バレブ
東京支店及び営業所の移転（令和5年10月）
〒168-0063
東京都杉並区和泉1-22-19
朝日生命代田橋ビル12階
TEL 03-6379-2260
FAX 03-6379-2261

○賛助会員
株式会社キツツ
本社及び日本橋事務所移転（令和5年11月）
〒105-7305
東京都港区東新橋1-9-1
東京汐留ビルディング5階
TEL 03-5568-9252
(国内営業本部 営業企画部)
FAX 03-5568-9256

